

『企業と会計の道しるべ』補足資料

証券取引所には市場区分があり、従来は東証一部、東証二部、マザーズ、JASDAQ でしたが、2022年4月からプライム市場、スタンダード市場、グロース市場という区分に再編されます。

グロース市場では、高い成長多能性を有する市場である一方、プライム市場では、グローバルな機関投資家をターゲットにするため企業にも高いガバナンス水準が求められています。

本書『企業と会計の道しるべ』第1刷～第7刷をご覧いただいている読者の皆様には、32～33頁の本文についてこの点を補足し、さらに図表3-1を差し替えて学習してください。

図表3-1 各市場の新規上場基準（一部抜粋）

	プライム市場	スタンダード市場	グロース市場
株主数	800人以上	400人以上	150人以上
流通株式数	20,000単位以上	2,000単位以上	1,000単位以上
流通株式時価総額	100億円以上	10億円以上	5億円以上
売買代金	時価総額250億円以上	—	—
流通株式比率	35%以上	25%以上	25%以上
収益基盤	最近2年間の利益合計が25億円以上 売上高100億円以上かつ時価総額1,000億円以上	最近1年間の利益が1億円以上	—
財政状態	純資産50億円以上	純資産額が正であること	—

出典：日本取引所グループ web (<https://www.jpx.co.jp/equities/market-restructure/market-segments/index.html>) 「市場区分見直しの概要」より作成

以上